

生成AIの可能性についての試み

――Webサイトの構築・公開支援およびそのレスポンス

メディアコミュニケーション学部情報文化学科

2232004 我妻 凜太郎 ザン ゼミ

概要

近年、生成AI（Generative AI、あるいはGenAI）の進化は目覚ましく、OpenAIが開発したChatGPTなどの大規模言語モデルは、自然言語を理解し、論理的な文章やコードを生成することが可能となっている（OpenAI, 2023）。

私はこの技術的潮流を肌で感じる中で、「AIはどこまで人間の作業をサポートできるのか」という問いかけが芽生えた。AIが単に情報を回答・出力するという補助的な存在にとどまらず、人間のアイデアを具現化するパートナーになれるのではないか。その可能性を、自ら確かめてみたいという思いが、この卒業研究の出発点である。

特に注目したのは、生成AIが「エンジニアでなくてもWebサービスを一から構成できるほどの支援能力を持つかどうか」という点である。私は、AIの力を発揮すれば、一般的な学生でも、企画から設計、開発、公開、そして集客に至るまでの一連のプロセスを実現できるのではないかと考えた。

実際に、私は「Apex強さチェッカー」というWebサービスを構築した。これは、人気バトルロワイヤルゲーム「Apex Legends」のプレイヤーが、自分の戦績やランク情報を入力すると「強さスコア」を自動で算出する診断サイトである。ユーザーは自分の実力を数値化し、全国平均と比較できる。構築にはFirebaseを用いたデータベース構築、Chart.jsを用いた統計グラフの生成など、Webアプリ開発の基本要素を多く含んでいる。

上記のプロセスでは、ChatGPTを始めとした生成AIが、設計・実装・文章作成・マーケティング支援などの幅広い工程で中心的な役割を果たした。AIは、コードを生成するだけでなく、デザイン案の提示やバグ修正のアドバイス、さらにはSNS上でのプロモーションメッセージ作成まで支援してくれた。

最終的には5.4万PV（2025年10月末まで）という大きな反響を得ることができた。

Keywords 生成AI、Web構築、Apex強さチェッカー、マーケティング

This thesis presents a whole real process working with Gen AI. I constructed a web site which checks how strong you are as a player of Apex Legends. I found that GenAI is always a good partner, from planning, coding, design, even with marketing which includes direct mails. Finally, the web site achieves 54 thousand reviews.